

いわき市文化政策ビジョン 意見交換ワークショップ～大学生編(第2回目)～

＜実施日時・場所＞

1月14日(木) (PM 6:00 ~ 8:15) ・アリオス制作室

＜質問事項/対象者＞	D さん・都内大学3年・出身地区：植田	F 君・市内大学3年・出身地区：平
Q. 文化芸術と聞いて思い浮かぶカテゴリーは何ですか？	❖文化施設 ❖音楽 ❖美術 ⇒今も近くにある。そこで見るものが文化芸術	❖歌舞伎 ❖日本舞踊
Q. 現在行っている文化芸術活動はありますか？	❖南大塚地域文化創造館でのオンライン演劇ワークショップの手伝い(授業の実習で派遣されたのがきっかけ)	❖スマホケースにイラストを描き付加価値を付けて売っている
Q. 興味のある、やってみたい文化芸術活動はありますか？	❖街コンにまた出てみたい⇒高校の頃ダンス同好会で出場。興味のない人も見てくれる、地域に密着したイベントに出るのが楽しかった	❖youtube (ゲーム実況) ❖剣道
Q. 文化芸術によらず、今一番興味・関心があること、また楽しいことは何ですか？	❖劇団四季を見に行くこと ❖カフェめぐり⇒情報源はインスタ	❖筋トレ
Q. いわき市の「文化芸術」といえば、何を思い浮かべますか？	❖アリオス(逆にアリオス以外に文化芸術のイメージがない) ⇒高校生の頃から、アリオスの「あそび工房」にボランティアスタッフとして参加。子どもたちの笑顔が見れたのがうれしかった。	❖じゃんがら念仏踊り⇒怖いイメージがあるため、参加したいとは思わない
Q. その他、いわき市を文化芸術で魅力的なまちにするためにあったらいいなと思うこととやってみたいことは何ですか？	❖色々な年代の方々との交流機会 ❖大人のコミュニティとの関わり⇒広い視点を持てる(学校教育の中で交流機会があれば) ❖地域による文化芸術の教育格差を無くすこと⇒地元の植田では文化芸術に触れあうのが難しい。情報も自分で取りにいかないといけない、得るのが困難	❖小学生のうちに、お祭りなどに見る側ではなく作る側として参加してみたかった(お面や提灯などを大量に作成して並べてみたかった)
Q. アリオスとの初めての関わりは？	❖高校時代にアリオスの「あそび工房」にボランティアスタッフとして参加したこと。(ボランティアを探していたままアリオスが見つかった) ❖教授の進めもあり、昨年インターンとして2週間アリオスに勤務⇒自分はボランティアでしか参加していなかったの、内側(実情)を知ること大切だと思った。	❖小学校の音楽会 ❖昨年インターンとしてアリオスを選んだ理由は、他の企業では体験できないことが経験できそうだったから⇒会議やラジオ出演をした。2日間の体験をFacebookに投稿
Q. 文化芸術活動をしている大人と出会う機会はあったか？	❖アリオスの広報グループのスタッフや、ボランティアスタッフ ❖芸術鑑賞会	❖高校生の頃、タイでムエタイの修行をした大人にキックボクシングを教わった
Q. いわきの魅力は？	❖人がいい、住みやすい、穏やか⇒地元に戻るのがリフレッシュになる	❖住みやすい環境
Q. 県外から友達がきたらどこに連れていきますか？	❖ブレイクで、大きなサンドイッチを食べる	❖ハワイアンズで遊びまくる
Q. 将来的にいわきに戻りたいか？	❖わからない(いわき以外のふるさとを作りたい気持ちがある) ❖就活で今は東京にいたい⇒人との出会い、刺激が多いのがいい、交通の便がいい	❖家族がいる限り、戻りたいと思う ❖1回は他の県にも住んでみたいと思う
Q. 豊かなまちとはどういうまち？	❖人とたくさん関わることができる場所がある。最低限の基本的な生活ができること⇒自粛している中(一人である中)そう感じる。ちょっとした関わりで気持ちが楽になる	❖とにかく人が集まる場所が欲しい⇒いわき駅前とか、昔は遊び場(ゲームセンター)や居酒屋、またガラの悪い人もいっぱいいた。今は昔と変わって何もなくなると親から聞く
備考	❖アリオスのボランティアスタッフになったきっかけは、キャリアメンタリングプロジェクトで、教育関係の進路に進むにあたって、その前に子どもたちと触れ合いたかった(もともと子どもが好き) ❖情報を探すときはインスタグラムから⇒まとめサイトがある ❖ボランティアを続けた理由は⇒ボランティアしやすい環境が整っている。普通に生活をしているは経験できないことができた。子ども時代、あまり文化芸術に関われなかったことの回収	❖情報はネットで地味に探るか、ツイッターか ❖愛知県はスポーツが盛んで、貸し出しているスタジアムがいっぱいあった⇒いわき市は一般人が施設が十分使えているのか？ ❖いわきでの遊びは⇒普段はインドア派なので、家でものづくりをしている。たまに小名浜で映画を見る
ワークショップから見たもの	❖いわきに戻ってきたい理由⇒いろいろな意味で“住みやすい”がキーワード ❖市内においても、生まれ育った地域の違いで文化芸術に触れる機会、教育格差があるため、それを埋めていく取り組みが必要 ❖子どもの頃から、身の回り以外の大人と接する機会の重要性⇒その後のキャリア形成に大きな影響を与える(お手本になったり、相談できる人がいるかどうか) ❖若者が何に興味をもっているか、また何から情報を得ているか⇒効果的なSNS(インスタ)などの活用の重要性 ❖学生が常日頃から気軽に訪れることができる、敷居の低い文化施設とすること⇒きっかけ作りや環境整備	